

平成 22 年 5 月 14 日

各 位

株 式 会 社 リ ミ ッ ク ス ポ イ ン ト  
代 表 取 締 役 社 長 吉 川 登  
( コ ー ド 番 号 : 3 8 2 5 )  
問 い 合 わ せ 先  
電 話 番 号 ( 0 3 ) 6 2 0 6 - 2 2 2 0

**(訂正)「平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の状況 (非連結)」  
の一部訂正に関するお知らせ**

当社は、平成 22 年 4 月 30 日付「調査委員会の調査結果中間報告及び過年度決算の訂正について」を公表いたしましたとおり、具体的な訂正内容が確定いたしましたので別添のとおり訂正いたします。

なお、訂正箇所につきましては、訂正前と訂正後をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線を付しております。

記

訂正を行う平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の状況 (非連結) について

決算期：平成 20 年 3 月期第 1 四半期 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 6 月 30 日)

公表日：平成 19 年 8 月 15 日

平成20年3月期 第1四半期財務・業績の状況（非連結）

（訂正前） 1 ページ

（百万円未満切捨て）

1. 平成20年3月期第1四半期の業績（平成19年4月1日～平成19年6月30日）

（1）経営成績 （％表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	210	△2.0	△69	△237.2	△70	△238.0	△82	△412.0
19年3月期第1四半期	214	—	50	—	50	—	26	—
19年3月期	932	60.3	212	90.6	199	87.9	110	88.8

	1株当たり 四半期(当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第1四半期	△10,090	04	—	—
19年3月期第1四半期	5,530	39	—	—
19年3月期	18,003	28	11,414	08

（訂正後）

（百万円未満切捨て）

1. 平成20年3月期第1四半期の業績（平成19年4月1日～平成19年6月30日）

（1）経営成績

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	110	△48.6	△69	△237.2	△70	△238.0	△82	△412.0
19年3月期第1四半期	214	—	50	—	50	—	26	—
19年3月期	932	60.3	212	90.6	199	87.9	110	88.8

	1株当たり 四半期(当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第1四半期	△10,090	04	—	—
19年3月期第1四半期	5,530	39	—	—
19年3月期	18,003	28	11,414	08

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国の経済は、高水準の企業収益が維持される中、設備投資の増加や雇用改善の安定が寄与し、景気は緩やかながらも回復基調で推移しております。しかしながら、米国景気に減速感が感じられることや、原油を始めとする素材原価の高騰、公定歩合の引き上げ予想等の懸念要素も発生しております。

このような状況のもと、当社は新規顧客の開拓と既存顧客の取引拡大に努めるとともに、新たな事業分野を開拓すべく新規プロダクトの研究・開発を行ってきました。また、4月に本社移転を行い、社内連携強化、営業効率の向上及び業務の効率化を図っております。

この結果、当第1四半期の業績は、売上高210百万円（前年同期比2.0%減少）、経常損失70百万円（前年同期比238.0%減少）、当第1四半期純損失82百万円（前年同期比412.0%減少）となりました。

（ソリューション・サポート事業）

当事業は、顧客企業や機関と深く連携した研究開発的な側面を持つ、画像や映像に関するアプリケーションのR&D型受託開発事業であります。

当第1四半期会計期間におきましては、新規顧客の開拓及び既存顧客の深堀に努め、広報業務支援システムの開発やその他デジタルアーカイブ関連システムの開発等により、売上高134百万円（前年同期比383.4%増加）となりました。

（プロダクト・ライセンス事業）

当事業は、ソリューション・サポート事業の中で開拓された市場ニーズをもとに、特定の顧客層向けのアプリケーションやSDK等のプロダクトを開発し、ライセンス販売を行う事業であります。

当第1四半期会計期間におきましては、防犯セキュリティー業界向けプロダクトの首都圏における導入実績を基に、新たに開発した機能・技術を加え、全国向けに販売を拡大しております。

併せて既存導入製品に加え、保守・メンテナンス業務も同様に拡大したことにより、売上高51百万円（前年同期比71.0%減少）となりました。

（サービス事業）

当事業は、上記の二事業で培われた技術力、マーケティング力を活かし、画像や映像に関するサービスを展開する事業であります。

当第1四半期会計期間におきましては、書籍「F1SCENE2007 Vol.1」 「ル・コルビュジエ 建築とアート、その創造の軌跡」（森美術館にて開催されている、ル・コルビュジエ展公式カタログ）の販売が開始されたこと等により、売上高23百万円（前年同期比213.0%増加）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度に比べて126百万円減少し、400百万円となりました。

四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期において営業活動の結果使用した資金は83百万円となりました。これは主に税引前第1四半期純損失計上75百万円、売上債権の減少165百万円、仕入債務の減少30百万円、棚卸資産の減少24百万円、及び法人税等の支払額70百万円によるものであります。

(訂正後)

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国の経済は、高水準の企業収益が維持される中、設備投資の増加や雇用改善の安定が寄与し、景気は緩やかながらも回復基調で推移しております。しかしながら、米国景気に減速感が感じられることや、原油を始めとする素材原価の高騰、公定歩合の引き上げ予想等の懸念要素も発生しております。

このような状況のもと、当社は新規顧客の開拓と既存顧客の取引拡大に努めるとともに、新たな事業分野を開拓すべく新規プロダクトの研究・開発を行ってきました。また、4月に本社移転を行い、社内の連携強化、営業効率の向上及び業務の効率化を図っております。

この結果、当第1四半期の業績は、売上高110百万円（前年同期比48.6%減少）、経常損失70百万円（前年同期比238.0%減少）、当第1四半期純損失82百万円（前年同期比412.0%減少）となりました。

（ソリューション・サポート事業）

当事業は、顧客企業や機関と深く連携した研究開発的な側面を持つ、画像や映像に関するアプリケーションのR&D型受託開発事業であります。

当第1四半期会計期間におきましては、新規顧客の開拓及び既存顧客の深堀に努め、広報業務支援システムの開発やその他デジタルアーカイブ関連システムの開発等により、売上高34百万円（前年同期比24.8%増加）となりました。

（プロダクト・ライセンス事業）

当事業は、ソリューション・サポート事業の中で開拓された市場ニーズをもとに、特定の顧客層向けのアプリケーションやSDK等のプロダクトを開発し、ライセンス販売を行う事業であります。

当第1四半期会計期間におきましては、防犯セキュリティー業界向けプロダクトの首都圏における導入実績を基に、新たに開発した機能・技術を加え、全国向けに販売を拡大しております。

併せて既存導入製品に加え、保守・メンテナンス業務も同様に拡大したことにより、売上高51百万円（前年同期比71.0%減少）となりました。

（サービス事業）

当事業は、上記の二事業で培われた技術力、マーケティング力を活かし、画像や映像に関するサービスを展開する事業であります。

当第1四半期会計期間におきましては、書籍「F1SCENE2007 Vol.1」 「ル・コルビュジェ 建築とアート、その創造の軌跡」（森美術館にて開催されている、ル・コルビュジェ展公式カタログ）の販売が開始されたこと等により、売上高23百万円（前年同期比213.0%増加）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度に比べて126百万円減少し、400百万円となりました。

四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期において営業活動の結果使用した資金は83百万円となりました。これは主に税引前第1四半期純損失計上75百万円、売上債権の減少259百万円、仕入債務の減少30百万円、棚卸資産の減少24百万円、及び法人税等の支払額70百万円によるものであります。

## 4 四半期財務諸表

(訂正前) 5 ページ

## (1) 四半期貸借対照表

区分	注記 番号	前第1四半期会計期間末 (平成18年6月30日)		当第1四半期会計期間末 (平成19年6月30日)		前事業年度 要約貸借対照表 (平成19年3月31日)	
		金額(千円)		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(資産の部)							
I 流動資産							
1 現金及び預金		274,835		400,407		526,759	
2 売掛金		170,030		<u>245,830</u>		410,864	
3 たな卸資産		18,389		38,105		13,602	
4 前払費用		34,587		48,099		32,529	
5 繰延税金資産		2,344		162		8,061	
6 未収消費税等	※2	—		615		—	
7 その他		3,065		<u>3,131</u>		5,273	
流動資産合計		503,252	81.3	736,351	78.1	997,091	83.4
II 固定資産							
1 有形固定資産	※1	4,809	0.8	4,087	0.4	4,476	0.4
2 無形固定資産							
(1) のれん		—		30,545		32,956	
(2) 営業権		40,191		—		—	
(3) 特許権		—		2,143		2,220	
(4) ソフトウェア		34,193		31,275		32,078	
無形固定資産合計		74,385	12.0	63,964	6.8	67,256	5.6
3 投資その他の資産							
(1) 投資有価証券		—		72,775		53,200	
(2) 敷金		—		54,879		58,235	
(3) 繰延税金資産		—		4,211		3,567	
(4) その他		36,573		6,003		12,006	
投資その他の資産計		36,573	5.9	137,868	14.7	127,009	10.6
固定資産合計		115,768	18.7	205,921	21.9	198,741	16.6
資産合計		619,021	100.0	942,272	100.0	1,195,833	100.0

(訂正後)

## (1) 四半期貸借対照表

区分	注記 番号	前第1四半期会計期間末 (平成18年6月30日)		当第1四半期会計期間末 (平成19年6月30日)		前事業年度 要約貸借対照表 (平成19年3月31日)	
		金額(千円)		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(資産の部)							
I 流動資産							
1 現金及び預金		274,835		400,407		526,759	
2 売掛金		170,030		<u>151,330</u>		410,864	
3 たな卸資産		18,389		38,105		13,602	
4 前払費用		34,587		48,099		32,529	
5 立替金		—		<u>94,838</u>		—	
6 繰延税金資産		2,344		162		8,061	
7 未収消費税等	※2	—		615		—	
8 その他		3,065		<u>2,793</u>		5,273	
流動資産合計		503,252	81.3	736,351	78.1	997,091	83.4
II 固定資産							
1 有形固定資産	※1	4,809	0.8	4,087	0.4	4,476	0.4
2 無形固定資産							
(1) のれん		—		30,545		32,956	
(2) 営業権		40,191		—		—	
(3) 特許権		—		2,143		2,220	
(4) ソフトウェア		34,193		31,275		32,078	
無形固定資産合計		74,385	12.0	63,964	6.8	67,256	5.6
3 投資その他の資産							
(1) 投資有価証券		—		72,775		53,200	
(2) 敷金		—		54,879		58,235	
(3) 繰延税金資産		—		4,211		3,567	
(4) その他		36,573		6,003		12,006	
投資その他の資産計		36,573	5.9	137,868	14.7	127,009	10.6
固定資産合計		115,768	18.7	205,921	21.9	198,741	16.6
資産合計		619,021	100.0	942,272	100.0	1,195,833	100.0

## (2) 四半期損益計算書

区分	注記 番号	前第1四半期会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)		当第1四半期会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)		前事業年度 要約損益計算書 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	
		金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)
I 売上高		214,426	100.0	<u>210,210</u>	100.0	932,163	100.0
II 売上原価		81,549	38.0	<u>154,197</u>	<u>73.4</u>	309,224	33.2
売上総利益		132,877	62.0	56,012	<u>26.6</u>	622,938	66.8
III 販売費及び一般管理費		81,933	38.2	125,885	<u>59.8</u>	410,815	44.1
営業利益又は 営業損失(△)		50,943	23.8	△ 69,872	<u>△ 33.2</u>	212,123	22.7
IV 営業外収益		—		88	<u>0.0</u>	929	0.1
V 営業外費用	※1	146	0.1	327	<u>0.2</u>	13,973	1.5
経常利益又は 経常損失(△)		50,796	23.7	△ 70,111	<u>△ 33.4</u>	199,079	21.3
VI 特別利益	※2	—		3,000	<u>1.4</u>	—	
VII 特別損失	※3	—		7,894	<u>3.7</u>	1,186	0.1
税引前第1四半期 (当期)純利益 又は純損失(△)		50,796	23.7	△ 75,005	<u>△ 35.7</u>	197,892	21.2
法人税、住民税 及び事業税		21,180		72		94,304	
法人税等調整額		3,181	11.4	7,408	<u>3.5</u>	△ 6,592	9.4
第1四半期(当期) 純利益又は純損失 (△)		26,435	12.3	△ 82,486	<u>△ 39.2</u>	110,180	11.8

(訂正後)

## (2) 四半期損益計算書

区分	注記 番号	前第1四半期会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)		当第1四半期会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)		前事業年度 要約損益計算書 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)				
		金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)			
I 売上高			214,426	100.0		<u>110,210</u>	100.0	932,163	100.0	
II 売上原価			81,549	38.0		<u>54,197</u>	<u>49.2</u>	309,224	33.2	
売上総利益			132,877	62.0		56,012	<u>50.8</u>	622,938	66.8	
III 販売費及び一般管理費			81,933	38.2		125,885	<u>114.2</u>	410,815	44.1	
営業利益又は 営業損失(△)			50,943	23.8		△ 69,872	△ 63.4	212,123	22.7	
IV 営業外収益			—			88	<u>0.1</u>	929	0.1	
V 営業外費用	※1		146	0.1		327	<u>0.3</u>	13,973	1.5	
経常利益又は 経常損失(△)			50,796	23.7		△ 70,111	△ 63.6	199,079	21.3	
VI 特別利益	※2		—			3,000	<u>2.7</u>	—		
VII 特別損失	※3		—			7,894	<u>7.1</u>	1,186	0.1	
税引前第1四半期 (当期)純利益 又は純損失(△)			50,796	23.7		△ 75,005	△ 68.1	197,892	21.2	
法人税、住民税 及び事業税		21,180			72			94,304		
法人税等調整額		3,181	24,361	11.4	7,408	7,480	<u>6.7</u>	△ 6,592	87,712	9.4
第1四半期(当期) 純利益又は純損失 (△)			26,435	12.3		△ 82,486	△ 74.8	110,180	11.8	

## (4) 四半期キャッシュ・フロー計算書

		前第1四半期会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)	当第1四半期会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)	前事業年度の 要約キャッシュ・ フロー計算書 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)
区分	注記 番号	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
<b>I 営業活動による キャッシュ・フロー</b>				
税引前四半期(当期) 純利益又は純損失(△)		50,796	△ 75,005	197,892
減価償却費		6,987	7,423	29,815
無形固定資産除去損		—	—	1,186
受取利息及び受取配当金		—	—	△ 267
支払利息		79	47	287
有形固定資産除却損		—	576	—
売上債権の増加(△)又は 減少額		△ 146,892	<u>165,034</u>	△ 387,727
たな卸資産の増加(△) 又は減少額		2,544	△ 24,502	7,330
仕入債務の増加又は 減少額(△)		22,853	△ 30,776	34,896
役員賞与の支払額		—	—	△ 8,704
その他		△ 32,211	<u>△ 55,310</u>	14,565
小計		△ 95,841	△ 12,511	△ 110,723
利息及び配当金の受取額			—	267
利息の支払額		△ 79	△ 47	△ 287
法人税等の支払額		△ 46,831	△ 70,806	△ 74,000
営業活動による キャッシュ・フロー		△ 142,753	△ 83,366	△ 184,742
<b>II 投資活動による キャッシュ・フロー</b>				
有形固定資産の取得 による支出		△ 1,536	△ 735	△ 4,033
無形固定資産の取得 による支出		—	△ 3,584	△ 15,111
投資有価証券の取得 による支出		—	△ 19,950	△ 50,000
敷金の払込による支出		—	△ 165	△ 54,154
敷金の返還による収入		—	3,521	—
その他		—	—	477
投資活動による キャッシュ・フロー		△ 1,536	△ 20,913	△ 122,822

(訂正後)

## (4) 四半期キャッシュ・フロー計算書

		前第1四半期会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)	当第1四半期会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)	前事業年度の 要約キャッシュ・ フロー計算書 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)
区分	注記 番号	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
I 営業活動による キャッシュ・フロー				
税引前四半期(当期) 純利益又は純損失(△)		50,796	△ 75,005	197,892
減価償却費		6,987	7,423	29,815
無形固定資産除去損		—	—	1,186
受取利息及び受取配当金		—	—	△ 267
支払利息		79	47	287
有形固定資産除却損		—	576	—
売上債権の増加(△)又は 減少額		△ 146,892	<u>259,534</u>	△ 387,727
たな卸資産の増加(△) 又は減少額		2,544	△ 24,502	7,330
仕入債務の増加又は 減少額(△)		22,853	△ 30,776	34,896
役員賞与の支払額		—	—	△ 8,704
その他		△ 32,211	<u>△ 149,810</u>	14,565
小計		△ 95,841	△ 12,511	△ 110,723
利息及び配当金の受取額			—	267
利息の支払額		△ 79	△ 47	△ 287
法人税等の支払額		△ 46,831	△ 70,806	△ 74,000
営業活動による キャッシュ・フロー		△ 142,753	△ 83,366	△ 184,742
II 投資活動による キャッシュ・フロー				
有形固定資産の取得 による支出		△ 1,536	△ 735	△ 4,033
無形固定資産の取得 による支出		—	△ 3,584	△ 15,111
投資有価証券の取得 による支出		—	△ 19,950	△ 50,000
敷金の払込による支出		—	△ 165	△ 54,154
敷金の返還による収入		—	3,521	—
その他		—	—	477
投資活動による キャッシュ・フロー		△ 1,536	△ 20,913	△ 122,822